



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



基準価額の推移



ファンドのデータ

(2019年5月31日付)

基準価額	11,556円
純資産総額	633百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2019年5月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲7.71%	▲3.93%	▲9.17%	▲15.56%	19.26%	15.56%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド(マザー)	90.4%	▲0.8%
静岡銀行株式	8.6%	+0.6%
現金等・その他	1.0%	+0.3%

構成銘柄	31社	0社
------	-----	----

運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎5月の個別銘柄リターン

5月のマザーファンドの月間リターンは、8.43%の下落、当ファンドの月間リターンは7.71%の下落となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「シスメックス(+18.53%)」、「味の素(+3.04%)」、「日立製作所(▲0.08%)」となりました。

シスメックスと味の素は、ともに19年3月期決算と同時に発表した20年3月期業績予想が材料視され、シスメックスは2期ぶりに営業最高益を更新する見通しが、味の素は海外事業やヘルスケア事業が牽引しての前期対比大幅な増益見通しが、それぞれ好感されました。日立製作所は、堅調な決算内容から安心感が広がり、相場下落時にも下値は限定的となりました。

下位3銘柄は、「堀場製作所(▲24.33%)」、「SMC(▲22.34%)」、「日東電工(▲20.70%)」となりました。堀場製作所は、半導体システム機器の販売減などにより19年12月期第1四半期決算が前年同期から大幅な減益となったことが嫌気されました。SMCは、半導体関連産業向けの需要減により20年3月期は前期対比で大幅な減益となる見通しであることから、業績の先行きに対する懸念が高まりました。日東電工は、主力であるスマートフォン向け光学フィルムの販売伸び悩み等により、20年3月期は2期連続となる減益見通しであることが失望視されました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は1.18%の上昇でした。

アナリスト 原嶋 亮介

◎運用責任者メッセージ

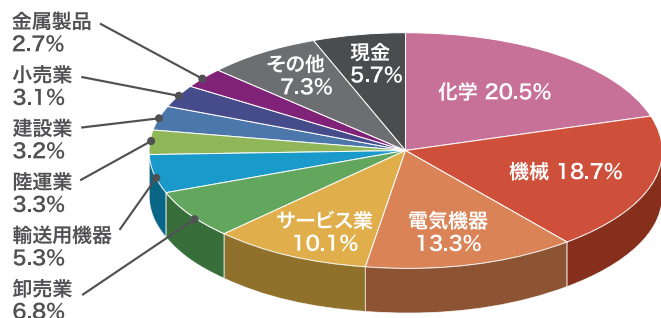
5月の内外金融市場は、トランプ大統領による追加関税引き上げ発言をきっかけに米中の貿易摩擦の激化、ファーウェイへの部品供給の禁止、メキシコへの追加関税なども重なり、先行きの世界景気に対する不透明感が増し、世界的に株式市場は大幅下落となりました。国内株式市場は、令和相場のスタートが波乱の幕開けとなりました。為替もドル円で108円台まで円高が進んだことも株式相場下落に拍車をかけました。当ファンドも8.43%の下落、投資先30銘柄中、28銘柄が値下がりとなりほぼ全面安の展開でした。TOPIX(東証株価指数;配当込)は6.52%、日経平均株価は7.45%の下落でした。当月は決算発表、中期経営計画の発表など企業調査の定点観測において重要な月でしたが、しっかりと企業調査を深めることが出来たと考えています。また、4月は現金比率を10%超に高めておりましたので、5月の下落局面では丁寧な押し目買いで対応しています。今後も、まだまだ貿易摩擦やハイテク覇権争いは続くと思いますが、企業側も対応を進めていくと思います。引き続き当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

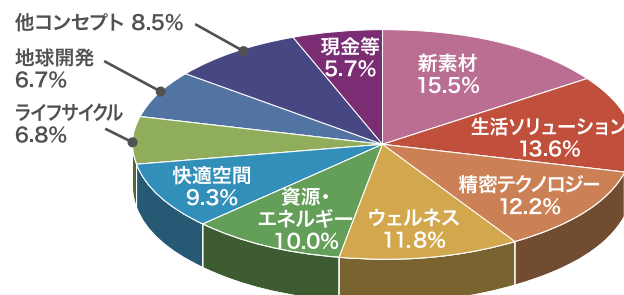
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2019年5月31日付)

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2019年5月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.8%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.7%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.6%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.6%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.5%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.5%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.4%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.4%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.4%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ!

5月はデンソーの株価が13.41%下落しました。為替の円高傾向や米中貿易摩擦の激化、米政権の自動車関税引き上げに対する警戒感などが背景にあります。5月下旬、同社はダイアログデーを開催。有馬社長と経営役員から、先端R&D領域、自動運転、電動化、財務戦略、などについてプレゼンテーションが行われました。中長期の成長目標として、21年度に売上収益5.6兆円、営業利益率8%以上、25年度に売上収益7兆円、営業利益率10%を掲げています(19年度計画は同5.5兆円、同6.9%)。自動運転では、高度なセンサー、センター制御によりシェアードサービス向けレベル4の実現を加速させます。電動化では、高いシェアを持つモータージェネレーター、インバータ、電池ECU(エレクトリック・コントロール・ユニット)といった技術をコアに幅広いアライアンスで価値を創造します。財務戦略では、KPI(重要業績評価指標)として資本コストを初めて導入しました。

シニア・アナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

長期投資で経済リターンと社会リターンを結びつける

4月6日に開催した周年イベントの企業との対話には、旭化成・エーザイ・東京エレクトロンの3社に御登壇いただきました。

すでにこの3社への投資は10年近く継続させていただいております。イベントではまず、長期投資家の存在を各社がどのように捉えていらっしゃるかをお伺いしました。医薬品開発を手がけるエーザイは、その開発状況や医薬品の販売動向で株価が大きく変動しやすい傾向にあります。また、東京エレクトロンも、世界景気の動向で売上が前年の半分になることもあるなど、業績変動が大きいという特徴がありました。しかしコモンズ投信は、そうした短期的な変動ではなく、あくまで長期的な価値創造に着目し投資を続けます。

こうしたスタンスに対し「厳しい局面でも一緒に乗り越えてくれる長期投資家の存在は、心強くもあります」といったコメントを頂戴しました。また、私たちコモンズ投信からは「私たちは長期投資を標榜しファンドを運用しているわけですが、それにはやはり受益者の皆様のご協力が必要です。いくら私たちが長期投資をしたいと思っても、受益者の方々が短期の購入・解約を繰り返すと、資金の流入が安定せず、結果的に長期投資が出来なくなるからです。幸い私たちのファンドは、多くの方が、積立投資によって長期的に資産を託して下さっています。皆さんの資金がコモンズ投信を通じて、企業の長期的な付加価値を高める活動資金となり、成長の結果が果実となって受益者の元に還っていく、そしてまた投資する。そういうサイクルをしっかりと回していきたいと思います。」というお話もさせていただきました。また、持続性・サステナビリティという観点での取組などについてもお伺いしました。旭化成では、脱プラスチックや循環型社会に向け、プラスチックの処理や再利用、さらには焼却時に発生する熱の再利用に向けた取組を行っているそうです。こうしたことから、これからの資産形成は、単なる経済的なリターンだけではなく、社会的なリターンとの総和が大事であり、持続可能な社会をつくることに多くの企業が取り組んでいけば、それは私たちが生活する社会にも直結していて、大きな社会的リターンとして返ってくる、ということを実感できるトークセッションとなりました。

イベントレポート「長期投資で経済リターンと社会リターンを結びつける」

https://park.common30.jp/2019/05/10_14.html

★次回コモンズ30塾申込開始しました！

7月26日(金) 19:00～21:00@FinGate(東京都中央区)

コモンズ30塾【企業との対話】「脱プラスチック問題」～セブン&アイ・HDをお迎えして～

<https://www.common30.jp/seminars/detail/829>



マーケティング部 福本 美帆

● ちょっといい話

【長期投資の醍醐味】

5月、株式市場は『令和相場』のスタートとなりましたが、米中の貿易摩擦の激化から波乱な幕開けとなりました。新しい時代を迎えるにあたり、平成の30年を振り返ることで令和時代にも通じるヒントを考えてみます。平成は難しい時代でした。バブルの後遺症に日本経済は長く苦しみました。一方で企業を取り巻く環境は激変し、世界は中国、インド、ブラジル、ロシアなどの新興国が次々と台頭しグローバル化が進みました。さらに、インターネットの出現とともにデジタル化も加速的に進みました。まさに、平成は激動の時代だったわけです。日経平均株価も平成の30年間では約26%の下落となりました。ただ、そんな時代でも一握りの企業は大きく成長しました。企業価値の増大を株式時価総額の増減率でみてみると、平成元年の時点で東証上場していた全1287社のうちの約60%の企業は時価総額を減額させましたが、約5%の64社は逆に時価総額を5倍以上にしています。どんなに厳しい時代でも、ビジネスチャンスを見つけ、大きく成長する企業はあるのです。具体的には、一番増加率を高めたのは日本電産でした。平成の時代に時価総額を約680億円から約4兆7,000億円にしています。なんと約69倍です。2位はキーエンスで約62倍、3位はビジョンで約48倍です。仮に平成が始まるタイミングで日経平均株価に連動するインデックスファンドを購入していた場合は、平成終了時に26%のマイナスという結果になっていたわけですが、同じタイミングで日本電産やキーエンスをはじめ大きく成長した企業だけに厳選投資することが出来ていたとしたら、日本株投資でも数倍になっていたことになります。コモンズ30マザーファンドは、時価総額を5倍以上にしたこの64銘柄中、8銘柄を約10年間投資し続けることが出来ています。ユニチャームが20倍、ダイキンが15倍、SMCが13倍、東京エレクトロンが11倍、信越化学が9倍、堀場製作所が8倍、マキタが5倍へと平成時代に時価総額を拡大しました。令和時代の先行きは不透明ですが、どんな時代でも事業を取り巻く外部環境の変化をも乗り越えられる一握りの企業を見つけ、その企業の長期的な成長に寄り添う長期投資が出来てこそ、大きな資産をつくる事が出来るはずです。これが本格的な長期投資の醍醐味です。引き続き、コモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

※文中のデータは過去一定期間の実績であり、将来の運用成果を予想、あるいは保証するものではありません。
また、特定銘柄の売買の推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認ください。ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>